

6 市立図書館における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
121	「図書館へようこそ」の周知	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、「図書館へようこそ」(バリアフリー宣言)を周知するとともに、ハード、ソフトの両面について、図書館利用の障害を除くよう取り組む。 [105にも掲載しています]	継続	○			各図書館に「図書館へようこそ」を掲示するとともに、各職員がマナーアップキャンペーンの一環で平成22年12月から1か月程度の間、「お探しの資料は見つかりましたか?」といったワッペンを身につけ、館内で声をかけてもらいやすいよう取り組みを行った。	市立図書館
122	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。	継続	○			千里図書館では児童書コーナーのOPAC近くに書架配置図を設置した。	市立図書館
123	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 [20にも掲載しています。]	継続	○	受診者数受診率	3,427人 94.4%	乳幼児と絵本を楽しむことへ関心を持ってもらえ、図書館が子育て支援の場であることも認知されてきた。本の借り出しやおはなし会等図書館の利用につながっている。一方で居宅親子への支援のあり方等課題も見えてきた。22年度は会場でのスタッフによる声掛け集をまとめ、共通認識を高めることに努めた。	○市立図書館健康支援室 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会
124	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	継続	○	実施回数 参加人数	0歳から参加できるおはなし会8館274回 5,123人、赤ちゃん専用スペース1館12回380人、1歳おはなし会149回2,914人	4か月児健診での取り組み「えほんはじめまして」のフォローとして0歳児向けなどのおはなし会を8館で実施している。実施していない1館は赤ちゃん専用スペースを定期的に設けている。おはなし会ではわらべうたや絵本を楽しんでいただき、リピーターも多く好評を得ている。保護者同士のコミュニケーションの場にもなっている。また東豊中図書館では毎週水曜日の「あかちゃんスペース」(10時から12時まで集会室を開放)でのおはなし会を「おはなしこちょこちょ」として平成22年10月1日より本格実施。0歳から1歳半向け。乳幼児向けおはなし会に参加できる職員を増やすことが今後の課題となっている。	市立図書館
125	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	継続	○	回数	930回		○市立図書館おはなしボランティアグループ

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
126	「えほんはじめまして」フォロー事業	経験豊かな講師による読み聞かせやわらべうた遊びを通して親子のふれあいや読書の楽しさや大切さを感じてもらう行事「えほんにたっち」や、健康支援室と連携し司書による読み聞かせやわらべうた遊びと保健師による子育てに関する話を組み合わせた行事「すくすく赤ちゃんタイム」などをいずれも図書館で実施。	継続	○	実施回数 / 参加人数	えほんにたっち! 2館4回98人、すくすく赤ちゃんタイム8館8回208人、すくすくおはなしタイム1館8回233人、わらべうたあそび1回24人	「すくすく赤ちゃんタイム」のほか、蛭池図書館では絵本の紹介とともに、保育士の方を講師に招き、遊びを通して親子のふれあいや時間を共有する楽しみを知ってもらう機会「すくすくおはなしタイム」を実施した。また千里図書館では健康支援室や保育課と連携を取りながら取り組みを進めた。講師を招いて行う講座も好評を得ている。平成22年度も父親が参加しやすい土曜開催の回を設けた。この他、蛭池図書館ではわらべうたあそびをテーマに1回開催した。	市立図書館
<p>「すくすく赤ちゃんタイム」:楽しかったです。赤ちゃん絵本がいろいろ見られて参考になりました。子どもがぐずってしまったので家に戻ったら今日歌った歌などをうたってあげたいです。(保健師さんのお話は)これからのことを聞けてよかった。誤飲する大きさが意外と大きくてびっくりした。身長をはかってもらえてよかった。少人数のクラスはいろいろな話がきけてよかった。読み聞かせの感じがわかってよかった。欲しかった本がありよかった。いろいろお話が聞けてよかったです。保健師さんのお話や相談ができてうれしかったです。ききたかったことがくわしく聞けてよかったです。</p> <p>「えほんにたっち」:いろいろな本をゆっくり聴かせてもらい、育児のおはなしなども聞けてよかった。色々な絵本がある中で、何を選べばよいのかいつも困っていたので、今なら音の良いのかな、と参考になりました。また参加したいです。娘の顔がキラキラしていました。こどもを自由にさせてくれたのはうれしかったです。個別の相談もできてとてもよかったです。</p>								
127	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子と一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取り組みを、関係機関・団体と連携して行う。 [6、99をご参照ください。]	継続	○	実施回数 / 参加人数	49回 1,910人	東豊中子育て支援センターと東豊中図書館の共催の絵本講座「えほんでもっともふれあいましょう」を6月と9月の2回実施。各回定員15組。対象月齢のこどもと保護者に絵本やふれあい遊びなどを通じて親子で時間を共有する楽しさを知ってもらった。また今年度も子育て支援センターや社会福祉協議会を通じて子育てサロン・サークルからの依頼があった。各図書館で協力して主に子ども室担当者が出向いて、絵本についてのお話や絵本の読み聞かせなどを行った。子育て支援センターでは申し込み制で行い、大変好評だった。月1回実施されるサロン・サークルへの出前絵本講座、出前おはなし会は、年に1回ずつしか出向けないが、地域の中で絵本に親しむ講座ができたことはよかった。図書館を身近に感じてもらえるきっかけにもなった。	○市立図書館 関係機関・団体
128	情報検索の講習会	子どもを対象に図書館ホームページを利用して情報検索の講習会を行う。また必要に応じてパスファインダー(情報検索のリーフレット)を作成し、活用する。	継続	□	回数	未実施	図書館ホームページを活用した情報検索の講習についてはパソコンなど施設面の課題が残る。またパスファインダーについては大人向けの「検索ナビ」を作成しているが、子ども向けの作成には取り組めていない。	市立図書館

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
129	「子どもと本のまつり」 「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や、子どもや子どもの本・読書に関わっている講師を招いての講演会や子ども向けのワークショップなどを行う「子どもと本のつどい」を豊子連と共催。 [13をご参照ください。]	継続	○	実施回数 / 参加人数	子どもと本のまつり(子ども224人、大人94人)、子どもと本のつどい(2回130人)	「子どもと本のまつり」への来場者は318人で今年度も盛況であった。平成23年度は30回目の節目の年となる。「子どもと本のつどい」では歌人の穂村弘さんと、大阪自然史博物館で骨格標本を作成している「なにわホネホネ団」団長西澤真樹子さんを招き、講演会とワークショップを行った。	市立図書館 豊中子ども文庫 連絡会(豊子連)
130	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、伝承あそびや昔語りの場を提供するとともに、子どもと本をつなぐ機会とする。	継続	○	実施回数 / 参加人数	地域子ども教室3館48回843人、工作など5館522人、子ども映画会4館67回1,440人	工作や折り紙教室、子ども向けの映画会を市内各館で実施し、定例のおはなし会への参加など、来館のきっかけとなるような事業に取り組んだ。また地域子ども教室などボランティアの協力を得て実施するものや、中学生から大学生のボランティアとともに実施する「えほんカルタ」やおはなし会、さらには多文化共生や障害者理解につながる催しも実施した。	市立図書館
131	「おはなし会がやってきた！」	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [55、97にも掲載しています]	継続	○	実施回数 / 参加人数	3カ所で6回開催、参加人数は303人	支援学校1校(4回開催)、障害児通園施設2カ所で開催した。普段から移動図書館で巡回している図書館担当者と毎年おはなし会をいただいているグループが、おはなし会に参加してくれる子どもたちの毎年の様子を継続して見ることができている。今後も各施設の教職員・保育士と連携して、事業を継続していくことが必要である。	市立図書館 子ども文庫・おはなしグループ
132	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、図書館の使い方の説明やおはなし会を行い絵本やおはなしの楽しさを伝える。 [57にも掲載しています。]	継続	○	実施所(園)数	14園	図書館職員が保育所や幼稚園を訪問することで乳幼児が本と出合える機会としている。また動く図書館では年度末にきりん組を対象に巡回先の保育所でおはなし会を実施している。	○市立図書館 保育所(園) 幼稚園
133	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	継続	○	実施校数	40校	子どもたちが地域の図書館に来て、より図書館を身近に感じてもらうことで、来館につながる大切な機会となっているため、今後も継続して行う必要がある。	○市立図書館 小学校
134	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。	継続	○	回数 / 参加人数	私立幼稚園・民間保育所(園)絵本講座2回41人	保護者への絵本講座の実施が困難なこともあり、子どもに近い存在である私立幼稚園、民間保育所(園)の教諭向けに絵本講座を行い、日常的に子ども達が絵本とふれあう機会の充実をめざした。	市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
135	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。	継続	○			赤ちゃん向け絵本の紹介冊子(「えほんはじめまして」で配布)を一部改訂した。平成22年度は旧版を図書館内や子育てサロン・小児科などで配布した。千里図書館ではYA(ヤングアダルト)向けの本の紹介リストを「本で楽しむお仕事紹介」のテーマで作成して配布。HP上で公開している。	市立図書館
136	ホームページの充実	図書館の子ども向けホームページをより使いやすいものにする。	継続	○			乳幼児向けのおはなし会の案内や、10代を対象としたブックリストを掲載するなど、広く子どもや子どもの読書に関わる情報提供を行っている。ホームページの内容を館内で検討するなど、内容の充実につとめているが、さらに定期的な更新が課題である。	市立図書館
137	家庭への情報提供	図書館のホームページやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [5、106にも掲載しています。]	継続	○		実施	図書館のホームページで、平成22年夏より「かんさいべんのえほん」を紹介中。	市立図書館
138	新1年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [4にも掲載しています。]	継続	○	配布枚数		図書館のPRや利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法については今後、検討していく必要がある。	市立図書館
139	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。また千里図書館が作成している「YA! BOOKS通信」などによるPRも実施する。	継続	○	配布枚数	Vol.5 (4月発行) 3,189部、 Vol.6 (9月発行) 7,696部、 Vol.7 (3月発行) 2,574部	千里図書館で「YA! BOOKS通信」を4月、9月、3月に発行し、近隣中学・高校を中心に配布してPRした。9月発行分では「高校情報」をとりあげ私立も含めて高校の資料を収集して公開したり、文化祭の一部コーナーでポスター展示等によるPRをしている。蛍池図書館・公民館「しゃべり場」コーナーを設け読書や学習の場を提供した。春休みから開始。長期の休みの期間に解放。	市立図書館

読書環境の整備

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
140	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとす。	継続	○	児童書の受け入れ冊数	14,085冊	こども室担当者が、担当者連絡会などで本の情報を共有し、選書委員会と連携しながら児童書の蔵書の充実をはかっている。今後は、調べ学習支援予算等を有効に活用し、資料を充実していく必要がある。	市立図書館

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
141	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	継続	○	コーナー設置数	すべての図書館(9館)	すべての図書館に「はじめてであう絵本」コーナーを設置している。コーナーでは絵本の他に地域の情報や子育て情報(サロン、サークルのマップなど)を設置し、情報提供を行っている。平成22年度は、前年度に「えほんはじめまして」で配布していた絵本リストも設置した。	市立図書館
142	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。	継続	○	実施	実施	赤ちゃんと保護者を対象にした行事や「はじめてであう絵本」コーナーにチラシや子育てに関する資料を設置して情報提供に努めている。こども室に子育てに関する資料のコーナーを設けている図書館もある。全ての図書館で希望者には授乳スペースを提供している。	市立図書館
143	YA向けの資料の充実	YA(10代のヤングアダルト世代)向けの本のコーナーを設置する。	継続	○	実施	実施	千里図書館でコーナーを設置し通信を発行するなど取り組みを進めている。また市内の他の図書館とYA世代についての情報交換をすることで高川や東豊中の図書館でも新たなYAコーナー展開の動きがでてきている。東豊中図書館では平成22年3月からYAコーナー棚を拡張。魅力ある棚づくりをめざす。	市立図書館
144	資料の充実	図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にする。 [110にも掲載しています。]	継続	○	設置数	支援学校2校、通園施設2カ所	施設や学校で活用される資料のニーズについて、巡回時に情報交換している。それを移動図書館車に積み込む資料に反映することで、施設や学校の読書環境の整備につとめている。施設の職員や保護者が入れ替わる際などに、交流の場を持つことが課題。	○市立図書館通園施設支援学校
145	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 [108にも掲載しています。]	継続	○	購入冊数 / 蔵書冊数	購入112冊 蔵書7,695冊	リストでの選書に加え、書店へ買出しに行き選書した。寄贈本については、受入れの準備段階の作業に留まっている。受入れのルールや流れを作り、寄贈本も最大限活用し、蔵書の充実に努めたい。	市立図書館
146	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 [111にも掲載しています。]	継続	○			世界のこどもの本の部屋の英語以外の外国語資料について、データ化していく仕組みを考案中。日本語タイトルがある資料については、本の裏表紙に日本語タイトルを添付する作業を平成23年度には実施予定。	市立図書館
147	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出する。	継続	○	動く図書館 / 貸出冊数	支援学校2校、通園施設2カ所、保育所6カ所、16,407冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。巡回が定着しており、貸出冊数は増加。個別の要望については巡回時に聞き取りができています。改めて交流の場を定期的に持つことが課題である。	市立図書館

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
148	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。 [12、43、63、109をご参照ください。]	継続	○	子ども文庫 5,105冊、保育所 28,756冊、幼稚園 2,868冊、おはなしボランティアグループ 14,031冊	団体貸出冊数	子ども文庫や学校、放課後子どもクラブ、保育所(園)、幼稚園及び自主的な活動グループで10人以上の利用者を有する団体に資料の団体貸出を行っている。貸出期間や冊数は利用団体の種別ごとに定められており、図書館では選書の補助や、必要に応じて配本などを実施している。	市立図書館
149	放課後子どもクラブへの貸出しと配本およびおはなし会の実施	放課後子どもクラブへ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成22年3月現在40カ所で行う。またおはなしボランティアや図書館職員によるおはなし会を実施する。 [43をご参照ください。]	継続	○	配本校数 / 貸出冊数 40校 12,672冊		絵本やよみもの、紙芝居などを100冊程度1セットにして貸出している。およそ4か月に1度入れ替えを行う。40校のうち1校は夏休み期間中のみの配本となっている。1～3年生まで異なる学年の子どもたちが一緒に放課後の時間を過ごすなかで、上級生が下級生に紙芝居を読む姿も見られるとのことである。今後も子育て支援課(放課後子どもクラブチーム)と連携し、クラブの子どもたちが楽しい時間を過ごせるような選書を行っていく。	○市立図書館 子ども未来部放課後子どもクラブチーム
150	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。	継続	○			市立図書館で行う様々な行事について、ポスター掲示やチラシ配布などを通じてPRに連携、協力していただいている。小中学校の生徒におすすめ本を紹介や詩、図書委員作成の壁新聞などを展示し、親子での来館につながった。また、小学校と連携してスタンプラリーを実施した館もある。 蛭池図書館では、長期休み前には、行事の案内や図書館カレンダー等を印刷して生徒に配布している。	○市立図書館 教育推進室 小中学校チーム 小・中学校

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
151	学校・市立図書館連絡会(地域館交流会)	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。 [87にも掲載しています。]	継続	○	会合 / 研修回数	8回	義務教育課を通じて市立図書館の関係者と担当する地域の小・中学校の学校司書と交流会を行った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに、図書館における地域の子ども読書に関する情報交換を行った。	小・中学校 教育推進室 小中学校チーム 読書振興課 市立図書館
152	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 [1をご参照ください。]	継続	○		実施	市内13か所の小児科関係医院で赤ちゃん向け絵本の紹介リーフレットを配布用として設置してもらった。	市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
153	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [14にも掲載しています。]	継続	○	貸出冊数 / 講座の回数 / 参加人数	14,031冊、ボランティア講座6回のべ150人、フォーアップ研修講座2回156人	「子どもと本をつなぐボランティア講座」を8回連続講座から6回講座としてから3年経過した。この3年間で年々参加人数が減り、途中で欠席する方も増えているように感じる。講師と打ち合わせを重ね、連続して受講してこそ意味のある講座にしようと考えている講座であるので、なるべく6回連続して受講していただけるような工夫が必要。また、読み聞かせの活動中のボランティアを対象に「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」を年2回実施しており、こちらは毎回盛況である。活動中のボランティアの悩みや興味にあった内容で引き続き本講座を開催していきたい。 一方、服部図書館ではおはなしボランティアを対象にOPACの使い方研修を実施した。	市立図書館
154	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生・大学生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 [15、68、88をご参照ください。]	継続	○	実施回数	高川12回、庄内1回、千里1回	高川図書館では中学生・高校生・大学生ボランティアによる幼児・小学生向け紙芝居会を毎月1回実施している。またボランティア参加者の募集をかねて今年度も担当地域の中学校の学校司書と連携し、ボランティアと職員が中学校に出向き、紙芝居の上演や紙芝居の読み聞かせのアドバイスをを行った。この時練習した紙芝居は、夏休みに小中連携の一環として中学生が地域の小学生へ読み聞かせする際の紙芝居として選んだもので、実際に夏休みに地域の小学校へ訪問し中学生が読み聞かせを行い好評を得たとのこと。	○市立図書館 おはなしボランティアポケット有志 関係施設

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年)実施		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
155	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	継続	○	実施回数	1回	図書館と豊中子ども文庫連絡会との共催で実施した「子どもと本のまつり」では市内の子ども文庫の活動を紹介するパネルを展示した。	市立図書館
156	教職員への取り組み	教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 [91をご参照ください。]	継続	○			一部の学校で教職員を対象に絵本講座を実施した。	○市立図書館 教育推進室 小中学校 チーム 小中学
157	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 [72、120をご参照ください。]	継続	○	研修回数	1回	高川図書館で人権講演会として実施した「LLブック」や「マルチメディアデイズ」に関する講演会の情報提供を行った。	市立図書館 関係施設
158	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 [51をご参照ください。]	継続	○	研修回数	19回	大阪府子ども文庫連絡会をはじめとして、児童サービスに関わる必要な研修を実施し、館内の情報システムを活用して職員間の共有に努めた。	市立図書館